

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
障害児通所支援なんてん（放課後等デイサービス）		2026年2月28日			
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	6	走り回る子がいる時は、より意識して危険予防に努めている。	休校日は児童発達支援と一緒にホールが一杯になる。もう少し広いスペースが必要。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	看護派遣を利用している。	利用者が多い時、適切でない場合もある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	バギーで動き回れるような構造になっている。	構造化については足りていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	5	2	限られたスペースであるが、明るく開放的な空間を保ち、常に清掃や整理整頓している。	より使いやすく楽しい空間を考えたい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	5	個別部屋がないため、パーティションを使用している。	部屋から出ていきたがる子もいるので、個別部屋があるといい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2		会議の内容を吟味し、より具体的な目標設定に繋げていくため情報を共有していく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	アンケート調査を毎年実施、会議で結果について意見交換を行っている。	アンケート結果を元に業務の改善を行う。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	朝礼終礼、ミーティング、ケア会議の場で日々意見交換を行い改善に努めている。	意見交換をし易い環境を整える。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		今後取り組んでいきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7			今後機会を設けて参加、法人内でも開催していく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			H Pにて公表。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		定期的に行い、ニーズを把握できるように努めている。	十分に考慮して作成する。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員全員で計画を評価・見直しを行う。ケア会議にて話し合い検討している。	「こどもの最善の利益」という視点を忘れない。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画立案の会議で話し合い、目標を決め支援に当たっている。	共有はされて、計画もあるが、児童によっては沿った支援ができていないということもある。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		内容が適しているか等、アセスメントツールの改善も考えていきたい。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			求められている支援を行えているかどうか検討して」いきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月のミーティングで案を出し合い作成。年間で行事を考える取り組み。	話し合いの時間を増やせたらと思う。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		トランポリンの活動や水族館等、新たな場所へ行けた。	スタッフミーティングでアイデアを精査していく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2		個々に合った支援の工夫をしていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3		事前に役割分担や打ち合わせを行えるように業務の効率化をしたい。
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		終礼やミーティングで次の支援に繋がる振り返りを行う。	
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日記録を残し、モニタリングや目標の見直しの際に生かしている。	記録からの支援へのつながりが弱いと感じる。	
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年（以内）毎にケア会議を行い、判断している。	モニタリングにより利用者様、保護者様とのコミュニケーションを図って行きたい。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			地域交流において新しい活動の工夫が必要と感じる。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		できるだけ本人に選択してもらう機会を設ける。本人の反応を汲み取っている。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		スタッフ全員からの情報も取りまとめて参画していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			連携を強化していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		R7年に学校見学を実施。	問題が起こりそうな時は迅速に連絡を行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		積極的に連携を図り、理解を深めて支援に当たって参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		色々な事業所があるので利用者様に多角的に事業所を活用出来るようお伝えしていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		研修に参加し助言の機会を増やす。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	公園や散歩の中で、地域の方と交流している。児童館の利用。	近くの児童館にも出掛ける機会を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	出られる連絡会はほとんど参加している。	今後も参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		細かな情報も従業員に情報共有して支援に当たっています。	これからもご家族や先生方に家庭や学校での様子を伺うようにしていく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		今後の課題として保護者と共になって考えていきたい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			丁寧に分かり易い説明を心掛けていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	定期的なアセスメントを行って確認をしている。	今後も確認を怠らさず行いたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			ご家庭の状況など、場合によっては会えない事もある。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		コミュニケーションを大切にしている。	普段のコミュニケーションからも相談し易い関係を築いて参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		父母の会は設立されていない。保護者会も少なく頻繁には行っていない。交流できる活動を考えたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速な対応に努めている。	今後も真摯に対応して参ります。
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		LINEやインスタグラム等を活用しています。	これからもより詳しい内容でお伝えしたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			守秘義務に徹底していきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			研修や勉強会に参加し、もっと配慮やスキルをあげていきたい
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	2	4	地域のボランティアの方との繋がりが有る。	地域の方々にも知っていただけるような工夫をしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	策定しています。	見直しや、周知が足りていないので伝える機会を設ける。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		策定しています。避難訓練も行っています。	訓練や備えの足りない部分の検討・見直しをしていく。訓練は不十分な為、定期的を実施したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		必ず確認するようにしています。	対応ができるよう取り組みます
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	現在重症者はいないが、アセスメントの際に再確認を怠らない。	現在の状況を再確認したい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		常に見直しを行い、安全な環境について意識を高めていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		安心して利用していただけるよう取り組んでいく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事業所内と社内で共有している。	ヒヤリハットやアクシデントを解析し次に繋がるような取り組みの改善をおこなっていききたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		積極的に研修に参加している。また社内での虐待防止委員会も定期的に活動がある。	日々の振り返りで意識を高めていきたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	契約時や計画見直し時にお伝えしています。	今後も丁寧に参ります。